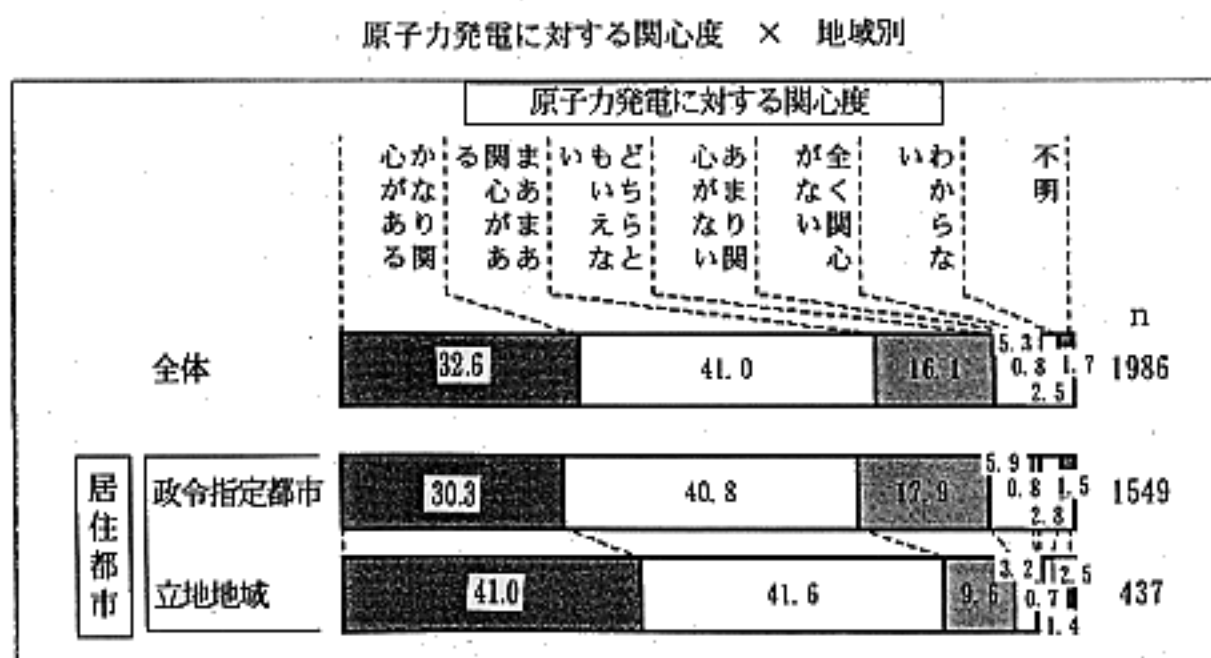
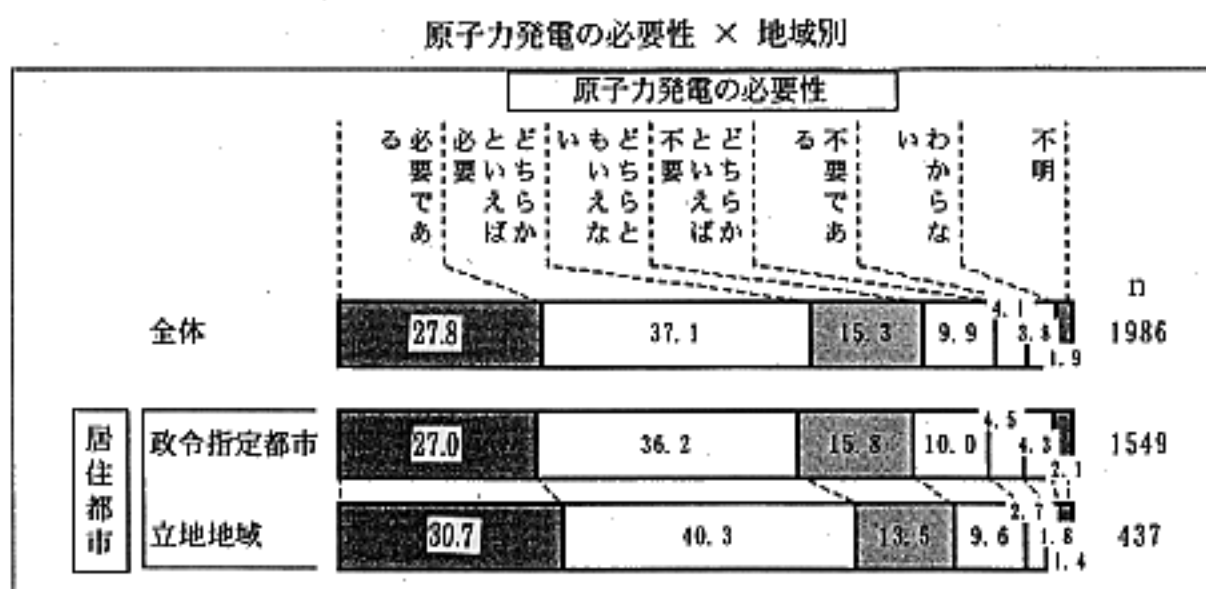


電力の生産地域と消費地域とのコミュニケーションの現状

- ① 通商産業省の委託調査によれば、電力の生産地域と消費地域とは、原子力発電に対する関心度や認識に差がある状況にあり、消費地域における情報提供を充実し、このような格差を縮めていくことが必要とされている。



(出典:「第12回 114」に関する世論調査 調査結果報告書」(財)社会経済生産性本部 1999年3月)



(出典:「第12回 114」に関する世論調査 調査結果報告書」(財)社会経済生産性本部 1999年3月)

- ② このため、電力消費地域における原子力を始めエネルギーに関する認知度の向上・理解の増進を目的として、主要大都市での「一日資源エネルギー庁」や地方都市での「全国講演キャラバン」等のシンポジウム・セミナーを開催している。